

## 予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：款：土木費 項：土木管理費 目：土木総務費

### 事業名（第 6 次）電子入札システム運用費

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

県土整備部 技術検査課 建設情報係 電話番号：058-272-1111（内4571）

E-mail：c11656@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 277,418 千円（前年度予算額： 0 千円）

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	277,418	0	0	0	0	0	135,883	0	141,535
決定額									

## 2 要 求 内 容

### （１）要求の趣旨（現状と課題）

- ・建設工事に関して、入札・開札事務及び入札情報の公表を、インターネットを利用して行うことで、入札業務の効率化・適正化、地理的・時間的制約条件の解消、競争の広域的確保、透明性の確保が実現されている。
- ・県及び県内 40 市町村（令和 7 年 9 月現在）は、電子入札システムの共同運用を「電子入札システムサービス提供業務」として委託している。
- ・電子入札システムサービス提供業務委託契約を令和 7 年 8 月に締結、令和 8 年度から 10 年度までシステム運用を行う。

### （２）事業内容

- ・令和 7 年度から 10 年度までのシステム運用と機器等更新及び移行作業について「電子入札システムサービス提供業務」として委託し、県内 40 市町村分を含めた一括契約とする。
- ・電子入札システム運用委託業務については、県が一括契約し、市町村負担分については、県と参加団体で協定書を締結し、歳入する。

①（第 6 次）電子入札システム運用費（4 年債務の R8 分）	274,635 千円
・システム最適化費用（県・市町村負担分） （構成設計、機器・ソフトウェアの設定、データ移行、テスト等）	52,221 千円
・システム運用費用（県・市町村負担分） （機器・ソフトウェア及び保守、運用管理、ヘルプデスク、データセンター利用等）	217,731 千円
・アプリケーション改修費用（県部分） （制度変更等に伴うアプリケーション改修）	3,775 千円

- ・電子入札コアシステム保守費用（市町村部分）  
（コアシステムの機能改善や問い合わせサポートに対する保守料）

908千円

#### 債務内訳

年度	R07	R08	R09	R10	合計
システム最適化	0	52,221	52,221	52,221	156,663
システム運用	0	217,731	217,731	217,731	653,193
アプリ改修（県）	0	3,775	3,775	3,775	11,325
コアシステム保守（市）	0	908	908	908	2,724
合計	0	274,635	274,635	274,635	823,905

※令和7年度はシステム移行のみでサービス提供を受けないため、サービス提供を受ける運用期間（令和8～10年度）において費用を負担する。

#### 県と市町村の実質財政負担

年度	R07	R08	R09	R10	合計
県	0	138,752	138,752	138,752	416,256
市町村	0	135,883	135,883	135,883	407,649
合計	0	274,635	274,635	274,635	823,905

#### ② 電子入札コアシステム ※年間保守料等 2,783千円

- ・コアシステムの機能改善や問い合わせサポートに対する保守料 2,723千円
- ・コアシステム連絡調整会議及び電子入札システム設定作業の旅費 60千円

※全都道府県が電子入札を行うために使用する汎用性の高いアプリケーション。  
県は平成14年度に購入し、これをベースに開発・運用している。

#### （３）県負担・補助率の考え方

- ・県 5／10（「電子入札システムサービス提供業務」の市町村共通部分）

#### （４）類似事業の有無

- ・無

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	60	連絡調整及び電子入札システム設定作業旅費
委託料	277,358	システム最適化費用、システム運用費用、アプリケーション改修費用、コアシステム保守費用、ソフトウェアライセンス費用負担額（県部分、市町村部分）
合計	277,418	

#### 決定額の考え方

### 4 参 考 事 項

#### （１）後年度の財政負担

- ・令和10年度まで、債務計画により運用費用が必要。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

入札等の情報の公表をインターネットを利用して行うことにより、①入札業務の効率化・適正化、②地理的・時間的制約条件の解消、③競争の広域的確保、④透明性の確保をはかる

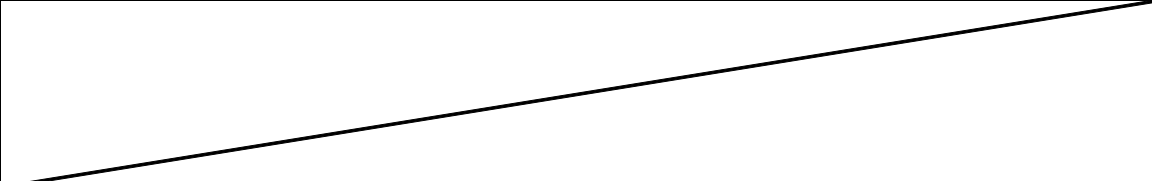
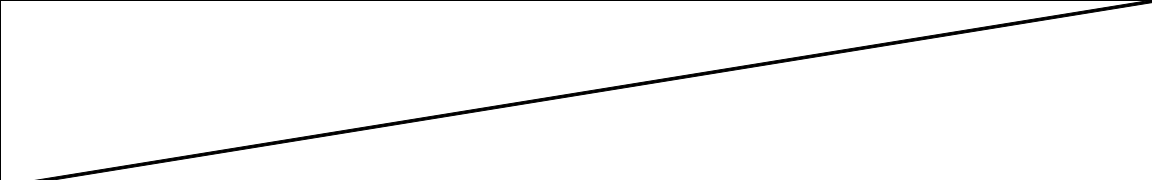
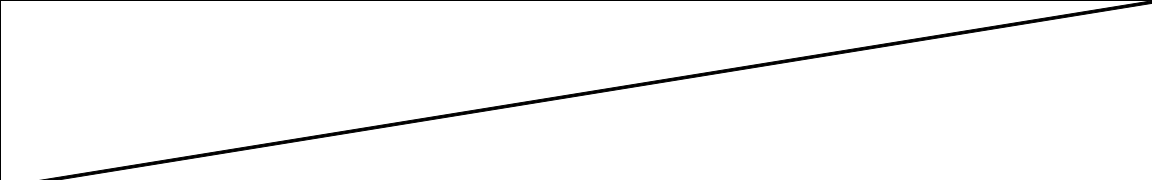
### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

平成16年の運用開始以来、入札業務時に使用されているシステムであり、業務に組み込まれて利用されている。

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	 <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和5年度	 <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和6年度	 <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり

2 : 期待どおりの成果あり

1 : 期待どおりの成果が得られていない

0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

### (今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

なし

### (次年度の方角性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

事務処理の効率化のために今後も必要な事業である。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント

又は事業名及び所管課

組み合わせる理由

や期待する効果 など